

学科の教育目標

臨床工学技士科（昼間部3年制／夜間部3年制）

養成目的

現代の医療機器の進歩は目覚ましく、特に血液浄化装置、人工心肺装置、人工呼吸装置など人の代謝、循環または呼吸の機能を代替または補助するために使用される生命維持管理装置は、医療の分野に新たな可能性を開くものとして大きな役割を果たしている。このような状況のもとで、医学的知識だけでなく、工学的知識を併せ持つ資格として厚生労働大臣免許の国家資格である臨床工学技士が誕生した。最近では心臓カテーテル検査・治療業務、ペースメーカー業務、並びに内視鏡業務等、臨床工学技士としての業務の幅も時代と共に広がりを見せ、病院への医療機器安全管理責任者の配置も義務付けられるようになった。また、医療機器メーカーも医療行為が可能な技術者や研究者を求める傾向にある。さらに各分野において専門臨床工学技士認定制度が始まるなど、臨床工学技士を取り巻く医療現場の環境は大きく変化してきている。

本校では医師の指示のもとに生命維持管理装置を中心とする医療機器の操作・保守・管理・点検を、医療チームの一員として行う臨床工学技士を養成することを目的とし、国家試験に合格するだけでなく、今後の医療の展開に対応できる幅広い視野と、医療倫理に基づき、人間性豊かなチャレンジ精神に富んだ医療人としての臨床工学技士の養成を目指している。

教育目的（ミッション）

1. 臨床工学技士国家試験に合格する事が当然である実力を身につける。
2. 幅広い人間性と意欲・向上心を身につけ、医療人としてチーム医療を実践できる人材を育成する。
3. 専門に関する語学力を身につけ、国際社会でも活躍・貢献できる幅広さを持つ人材を育成する。
4. IT、遺伝子工学、再生医療、ロボット医療の時代に対応できる基礎知識並びに柔軟性を育成する。
5. 医療機器開発や安全管理技術に対する基礎的なスキルを身につけた企業人としての臨床工学技士を育成する。

取得目標資格

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| (1) 臨床工学技士 [国家資格] | (4) 工業英語能力検定 |
| (2) 第1種ME技術実力検定 | (5) マイクロソフトオフィススペシャリスト検定(Excel) |
| (3) 第2種ME技術実力検定 | (6) 数学検定 |

就職分野

大学附属病院、各種総合病院、診療所（クリニック）、医療機器関連企業

職 種

1. 医療機関の手術室、血液浄化センター（透析室）、集中治療室、心臓カテーテル検査室、救急救命センター、内視鏡センター、ME機器管理室などにおいて生命維持管理装置の操作と医療機関における様々な医療機器の保守・点検・管理業務
2. 医療機器メーカーの開発研究及び研究補助業務
3. 医療機器メーカーの営業、サービス、メンテナンス業務